

## 2021 年 政 策 要 望 事 項

19 辻川 公子

事 業 名	内 容 説 明
1 ジビエ処理施設	<p>富士山麓の猪鹿等の被害は環境への負荷や農作物等へ多大なものである。処分場の課題も喫緊であり、今後官民一体となり、その処分場を広域で検討をし、建設を目指す。ジビエ料理やその加工品は特産品となる。</p> <p>猪、鹿の解体等によるワークショップや諸イベントを推進する。</p>
2 御殿場駅より富士山側の歩道整備	<p>市役所、市民会館、図書館の公共施設や地域に密着したショツピングセンターのある旧 246 号線及び 138 号線を挟む中心市街地の市道の整備は進んでいない。弱者に即した歩道整備を推進していただきたい。</p>
3 現図書館を「文教施設」として改修する。	<p>萩原の図書館は御殿場振興センターと同時期に建設された。現図書館は外観何ら問題ない。一部必要箇所を改修整備し、子どもを中心にした学習の場等の必要な機能を残し、利便性の高い中心市街地の数少ない公共施設を活用する。</p>
4 訪問医療の充実	<p>介護の 2040 年問題は 1.5 人が 1 人の高齢者を支え、超高齢世帯下社会の到来の中、困窮化・社会的孤立化が予測される。今後、高齢者施設への入居促進ばかりでない、在宅での介護を望む方々が医療のサポートを受けながら、安心して自宅で看取れる訪問利用体制の整備拡充が必要となる。その制度設計が望まれる。</p>